

## 2012 スーパー耐久 Rd,2 吉田広樹 <茂木ツインリンク>

開幕戦の富士から約1ヵ月のインターバルを挟み、第2戦が栃木県ツインリンク茂木サーキットで開催されました。開幕戦に引き続き「TECHNO FIRST」さんより、ST-3クラスに参戦させていただきます。通常金曜日からのテスト走行となりますが、今回のレースでは水曜日から現地入りしテスト走行を行いました。



### 4月25, 26, 27日 フリー走行

今回は水曜日からテストを用意して頂いたということでドライバーはもちろん、チームも今回のレースに掛ける意気込みを感じます。初日のテストでは主にチームメイトである堀田選手に走行してもらい、私は2周のみの走行となりました。しかしこの日から用意して頂いたマシンが凄く乗り易いことも確認できました。木曜日に入り、この日もDRYコンディションで走行することが出来ましたが、STOの公式テストが行われる金曜日は雨の予報だったので、この日のうちにマシンのDRYセッティングを確認しなければなりません。決勝レースを見据えて燃料満タンにし、タイヤも距離を走ったもので周回を重ねましたが、それでもいい状態で走れることが確認出来ました。最後に予選を見据えたアタックのテストを他の選手から順番に行っていたのですが、途中から雨が落ち始めたので2日目はこのまま走行を終えることとなりました。金曜日から公式テストとなり他のチームとの比較を行いながらテストを進め

ます。この日は予報通り朝からWETコンディションでの走行となります。土日は晴れの予報でしたが、今後のためにテストを行うため、小泉選手とともに周回を重ねます。しかしここで自分の走り方によって中々タイムをあげることが出来ません。チームメイトである34号車とデータを比べ、走り方を修正しながら徐々にペースをあげ、この日のテストを終えることとなりました。

### 4月28日 公式予選 DRY 予選→不通過

この日は予選前に30分のフリー走行が行われました。前日の雨が少し残る状況でしたが、予選のシュミレーションとして、2周アタックさせて頂きます。その結果2'05,1というタイムを刻むことができ、最後のフリー走行をトップタイムで終えることが出来ました。

午後に入り天候もよく、完全なDRYコンディションで予選時間を迎えます。今回も私がBDドライバーとしてアタックさせて頂く事になったのですが、ADドライバーを務める小泉選手がコースインする直前に電気系のトラブルが発生し、小泉選手はアタックを行うことが出来ませんでした。しかしメカニックさんたちの迅速な作業のおかげで私がアタックする直前に修復が完了し、予選時間開始とともにコースインすることが出来ました。計測1周目からアタックを行い、2周目に2'05,0という自己ベストタイムを更新。しかし自分のミスもあったので1周のクールラップをはさみ再度アタックをさせて頂いた結果、



TECHNO FIRST

<NO.1>

## 2012 スーパー耐久 Rd,2

**吉田広樹**  
〈茂木ツインリンク〉



2'04,902というタイムでクラストップにつけることが出来ました。またドライバーの予選では堀田選手が決勝を想定したマシンで3番手につけてくれたので、決勝ペースも問題ないことが確認できました。S耐久はABドライバーの合算タイムで決勝のグリッドが決まるため、私たちは最後尾からのスタートとなりますが、チームの用意してくれたマシンの速さはアピールすることが出来たと思います。

### 決勝レース DRY

#### ST-3クラス→5位/8台中 (総合40台中/12位)

午後に入り天候も快晴で夏のような気温、路面温度の中、決勝レースを迎えることとなりました。昨日の予選結果から40台のうちの最後尾から追いつけなければなりません。しかしマシンの状態は良好なため、追いつきが期待できる状況の中、今回はスタートドライバーを担当させて頂くことになりました。自分の役割は出来る限りポジションをあげ、堀田選手にバトンを渡すことにつきますので、そこだけを考えスタートしました。スタート直後は他のクラスを抜きながらプッシュしなければならぬのですが、乗り易いマシンのおかげで順調に前の車に追いついていきます。自分のステイの中盤に入り、ST-3クラスの2番手争いを行う5台の集団に追いつくことができ、そこから1台ずつオーバーテイクを行います。その際にあまりタイヤを使わずに後半ステイのことを考え

プッシュしました。4台をオーバーテイクし、クラス3位につけた頃から2速を使用する際に異音が発生し始めたため、4時間のレースを考慮し3,4速だけを使用した走行に切り替えることにしました。それでもマシンの状態はよく、2番手のマシンに何度も並びかけます。そのタイミングで2位のマシンがピットインしたため、マシンを労わりながらフルプッシュし、40周目に堀田選手にドライバー交代を行いました。ここから堀田選手は安定したタイムで40周を走りきり、ポジションキープのまま小泉選手にドライバー交代します。チームで1,2フィニッシュも見えてきた状況の中、トラブルも発生しペースが上がらず徐々に順位が落ちてしまいましたが、クラス5位でチェッカーを受けることが出来ました。

今回のレースではチームが凄く速いマシンを用意してくれたため、プッシュしがいのあるレースが出来ました。このチームで経験を積まさせて頂き、本当に勉強になっています。しかしWETの走行もそうですがまだまだ勉強しなければいけないことは沢山あるので、次戦はしっかり結果に結びつけることが出来るようにチーム一丸となって頑張りたいと思います。それでは引き続きご指導、ご支援宜しくお願い致します。

TECHNO FIRST 吉田 広樹



**TECHNO FIRST**

〈NO.2〉